

谷中・根津・千駄木タウンウォーク

期 日：1月23日（土） 曇り

コース：JR西日暮里駅 10:00～道灌山、高村光太郎碑、諏訪神社、富士見坂 10:25～幸田露伴住居跡。北原白秋住居跡、朝倉彫塑館、観音寺築地塀 10:50～谷中霊園、徳川慶喜の墓 11:20～大雄寺、下町風俗資料館、ヒマラヤ杉、大名時計博物館 11:50～12:00 根津神社 12:20～12:25 千駄木 13:00～藪下通り、ふれあいの杜、森鷗外旧宅跡・記念館 13:30～団子坂～13:50 全生庵 14:10～岡倉天心記念公園～14:20 谷中銀座、夕焼けだんだん 14:50～経王寺～15:00 日暮里駅

参加者：L HS、TI、YN、YY、RI、CO、MK、KN、MS、SS、MY、KM 12名
記録 HS

折悪しく強い寒気が入り込んだ寒空の中、東京の中でも戦禍を逃れたために往時の風情が残る人気の“谷根千”コースを西日暮里駅からスタートして元気に巡り歩いた。道灌坂の陸橋をのぼり最初に向かったのは道灌山



ここは上野から赤羽に続く山手台地の一部で室町時代末期の武将太田道灌の出城があった。西日暮里駅を真下に見下ろす位置にあり、この地の由来を紹介する案内板が立っている

昔は坂上から富士山が眺められたことで富士見坂と呼ばれているが、近年は高層マンションが建ち眺望は期待できない

富士見坂から谷中の入り口に至る





朝倉彫塑館



観音寺築地塀

谷中霊園にある五重塔跡

明治の文豪、幸田露伴の小説の舞台で
昭和32年に焼失してしまった



谷中霊園さくら通り

谷中霊園は都営の広大な墓苑で、並び立つ墓石や石碑と点在する古木や桜並木が美しくいつもなら散策する人たちが賑わうという。五重塔跡の後、獅子文禄、長谷川一夫、川上音二郎、高橋お伝、鳩山家、横山大観、徳川慶喜など著名人の墓を巡った。



高い鉄柵で囲まれた徳川慶喜の墓 周りの墓と異なり円墳状の神式の墓

谷中霊園を出て江戸時代から酒屋を営んでいた建物を移築した下町風俗資料館を観る



ヒマラヤ杉の巨木の前で





根津神社唐門をバックにツーショット



根津神社本殿



根津神社でお詣りの後、朱塗りの鳥居が立ち並ぶ乙女稲荷を潜り抜け千駄木方面での昼食に向う



谷中エリアにある指人形笑吉



全生庵をバックに記念撮影

全生庵は中曽根元首相や安倍現首相が座禅を組むことでも知られている



谷中銀座に到着

入口に「ひぐらしの里谷中銀座」の看板が高く掲げられている。

全長 175m、道幅 5~6mの両側に 70 店舗がひしめくどこか懐かしい地元商店街、さすがに外国人も目立つ多くの観光客で賑わっている。



谷中銀座に下る坂に設けられた階段「夕焼けだんだん」の前で



階段を上がって最後のコース、幕末の上野戦争で敗れた彰義隊を匿ったために新政府軍から受けた鉄砲玉痕が今も山門に残る経王寺を経てゴール、足元の線路を多彩な列車・電車が通過する日暮里駅前の長い陸橋を渡って冷え切った身体を温めてくれるはずの反省会場に向かった。皆さんお疲れ様でした。